

## 67 ヨハネ 20 章 24-30 節

今日の箇所は、イエス様が弟子たちの前にあらわれて下さった一週間後の日曜日の出来事です。

1、どうやら、あのよみがえりの夕方の集まりに、一緒にいなかった弟子がいたようです、誰ですか？ (24)

・一緒に想像してみませんか、どうしてトマスはこの時、いつものように集ってなかったのでしょうか？「自分がトマスだったら」と思い、考えてみましょう。

2、次の日曜日のことです。この日も戸に鍵がかけられていたとあります。11 使徒全員が集まっていたところに、イエス様はやってきて、彼らの真ん中に立ち、語られました。何と言われましたか？ (26)

※当時のユダヤの日にちの数え方は、その日を一日と数えます。

※これがイエス様の御心なのです。私たちがイエス様を信じ、救われて、いただいたものはこれであり、私たちがキリストにあって日々いるべきところはここなのです。

3、現れたイエス様は、すぐさまトマスに語りかけられました。その言葉を書き写しましょう。 (27)

◎これらのことばによって、あなたはイエス様はどのようなお方だと思いますか？

※イエス様はあなたや私のこともこのように見て下さっていますよ。

4、それに対する、トマスの返答（告白）はどのようなものでしたか？ (28)

※私たちがイエス様を「主（主人）」と呼び、イエス様を「神」と呼ぶのはこの告白から見ても、正当なことなのです。

5、そのトマスの返答（告白）に対してイエス様が語られた言葉も書き写しましょう。 (29)

◎あなたや私たちは、この後者の部類に入ります。その人たちは…何と言われているか？

つまり、現在のクリスチャンの信仰の方が、イエス様の時代の人達の信仰よりも「幸い」であるという事です。あなたはそのような認識持っておられましたか？

6、30,31 節には、この書（聖書）が記された目的がも語られています。31 節の言葉を書き写しましょう。

◎この「いのち」とはどのようなものでしょうか？ (I ヨハネ 5:11-13)

7、次の事柄を考え、意見を出し合ってみましょう。

・毎週の集い（集会）や祈り会などに集うことをどのように考えていますか？

8、このところから神様（父、子、聖霊）はどのようなお方であるとわかるのでしょうか。